

学校全体で推進するポジティブ行動支援（スクールワイドPBS）について

★人権教育を教育活動の基盤に据えて、ポジティブ行動支援を行う。

◆自己変革が重要「教師が変われば子どもが変わる」「子どもが変われば保護者が変わる」

- できていることから褒める。望ましい行動を増やし問題行動を減らす。
- 望ましい行動を引き出す工夫をする。「やってみよう」「できるかも」
- 望ましい行動が繰り返されるような工夫をする。「またやりたい！」

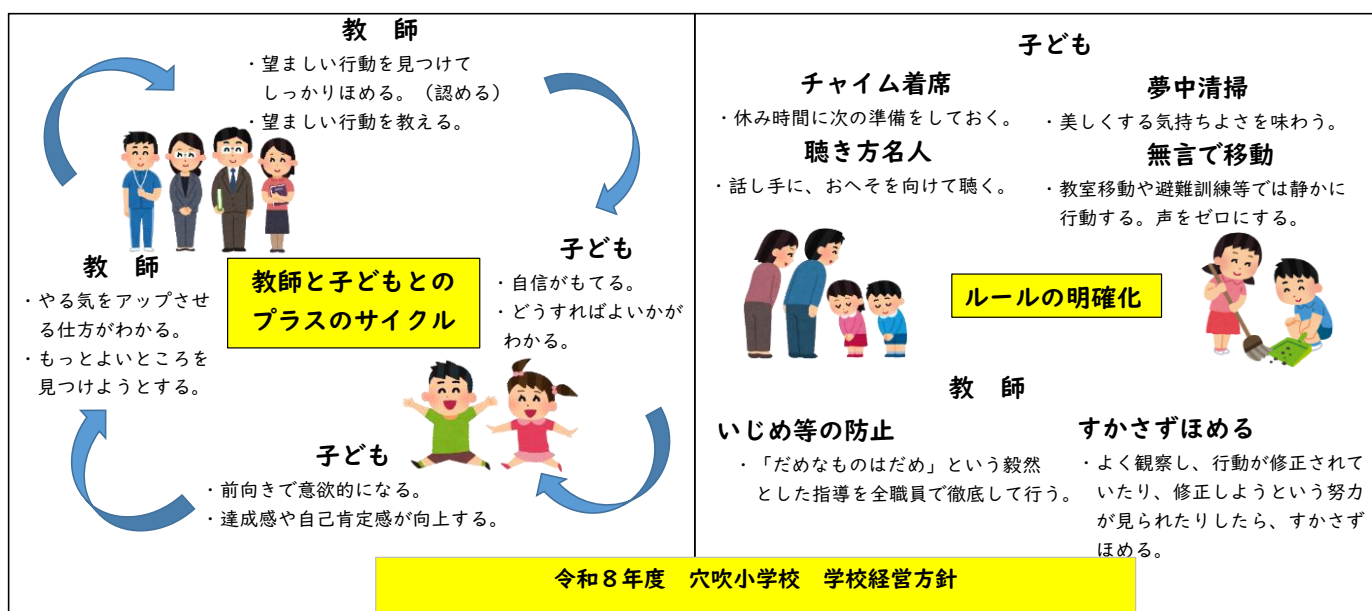


★すべての子どもたちが安全に、安心して学べるような教育環境を整える。

- ①授業：PBSの考えをもとに「わかった」「できた」と実感できる授業づくりをする。
- ②生徒指導：PBSの手法で「小さなできた」を実感できるようフィードバックをする。

★リスク管理（どんな小さなことでも 迅速・確実に 縦横の情報共有を欠かさない。）

- 複数の教職員で ていねいな事実確認と誠実な初期対応により リスクを信頼に変える。



令和8年度 穴吹小学校 学校経営方針

スクールワイドPBSで安全・安心に学べる学校づくり ～ ポジティブ行動支援で教師と児童、児童相互の信頼関係を深める ～

良い手本を見せる・紹介する

- ・委員会かつどうによる 「朝のあいさつ運動」
- ・週目標が守れた学級に花丸を付け、一定数になった学級を訪問し表彰する。
- ・友達の頑張り等を帰りの会や昼の放送で紹介する「いいところ見つけ」



望ましい行動を引き出し 習慣付けるための工夫

ツール等の活用

- ・できたことをグラフ等で視覚化し称賛
- ・シールで称賛
- ・コメントで称賛
- ・花丸で称賛



ほめる場面の創出

・学級や一人一人の子どもの興味・関心に応じて、教師が活躍できる場を意図的に設定して、ほめる場面を創り出す。

（例えば、年度始めに、チャイム着席を習慣付けたい学級では・・・）

教師：（休み時間中に、次の授業の準備を知らせる。）

子ども：「（チャイムの音）チャイム鳴ったよ。みんな、すわろー。」

教師：「すごい！全員座ってますね。学習準備もOKです。花丸！」

子ども：「やったあ！」⇒グラフ等で可視化して、継続を意欲付ける。

具体的にほめる

- 「答えをノートに書いているね」
- 「背筋がびんと伸びているね」
- 「友達にありがとうって言えたね」

教師の思いを伝える

- ・うれしい気持ちを素直に伝える。

すぐにほめる

- ・即時に、タイミングよくほめる。

過程をほめる

- ・頑張ってきた思いや努力に共感する。

効果を高めるほめ方

